

「神戸市営交通事業 経営計画 2015」の取組み結果（報告）

1 計画の概要

（1）計画期間

平成23年度～27年度

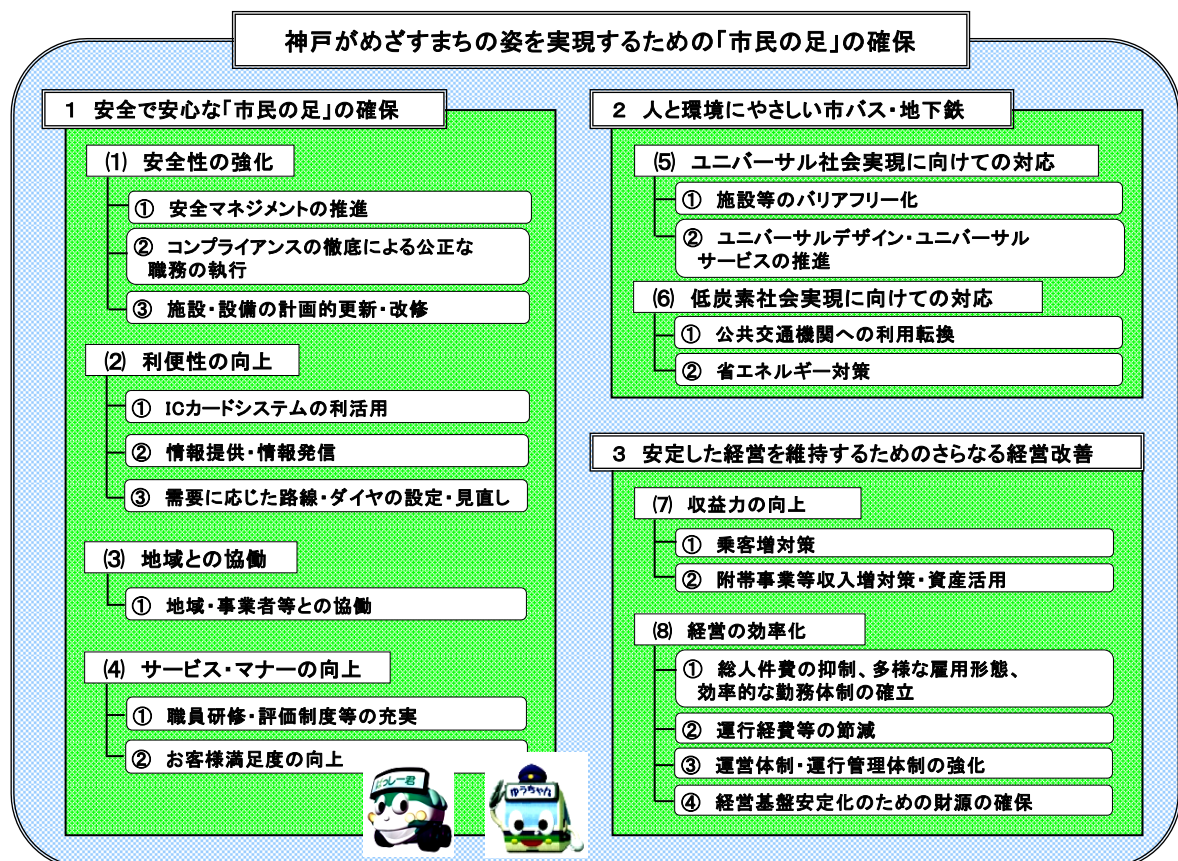
（2）経営目標

神戸がめざすまちの姿を実現するための「市民の足」の確保

（3）経営方針

- 1 安全で安心な「市民の足」の確保
- 2 人と環境にやさしい市バス・地下鉄
- 3 安定した経営を維持するためのさらなる経営改善

（4）計画の体系図



2 財政目標の達成状況

【自動車事業】 〔財政目標〕 単年度黒字の確保と累積資金不足の縮小
平成23年度～27年度の改善額累計 19億円

○ 収支の推移

(単位：億円)

	H23	H24	H25	H26	H27
収益的収入	128.5	128.7	121.1	114.7	111.7
収益的支出	127.0	126.7	121.4	153.0	108.9
純損益	1.5	2.0	△ 0.3	△ 38.4	2.8
(会計制度変更の影響除く)	—	—	—	(△ 0.1)	(0.4)
累積資金過不足額	△ 8.8	△ 6.5	△ 7.9	△ 12.0	△ 16.1

※会計制度の変更：平成26年度～

○ 改善額累計 (改善前収支見込みからの改善額。会計制度変更による影響額を除く。)

(単位：億円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27累計
収益力の向上	△ 1.6	0.2	△ 6.1	△ 12.0	△ 13.1	△ 32.6
経営の効率化	3.0	1.6	7.6	13.4	19.3	44.7
改善額計	1.4	1.8	1.5	1.4	6.2	12.2

〈達成状況〉

- ・計画期間を通して単年度黒字は確保できなかった。
- ・累積資金不足額は一旦縮小したものの平成25年度以降拡大し目標を達成できなかった。
- ・収支改善額累計は目標額を下回り目標達成できなかった。

【高速鉄道事業】 〔財政目標〕 営業収支の黒字確保と海岸線ランニング収支の均衡
平成23年度～27年度の改善額累計 15億円

○ 収支の推移

(単位：億円)

	H23	H24	H25	H26	H27
営業収益	202.1	203.3	209.7	208.2	212.3
営業費用	185.1	184.9	182.7	204.3	198.5
営業収支	17.0	18.4	27.0	3.9	13.7
(会計制度変更の影響除く)	—	—	—	(22.8)	(28.1)

※会計制度の変更：平成26年度～

海岸線ランニング収支	△ 5.1	△ 4.9	△ 4.7	△ 4.8	△ 4.4
-------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

○ 改善額累計 (改善前収支見込みからの改善額。会計制度変更による影響額を除く。)

(単位：億円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H23-27累計
収益力の向上	4.7	7.6	15.3	15.0	19.9	62.4
経営の効率化	5.6	6.8	9.2	2.8	7.4	31.9
改善額計	10.4	14.4	24.4	17.8	27.3	94.3

〈達成状況〉

- ・計画期間を通して営業収支の黒字を確保できた。
- ・海岸線のランニング収支は、収支均衡という目標達成に至らなかった。
- ・収支改善額累計は目標額を上回り目標を達成できた。

3 各指標の取組状況

(1) 安全性の強化

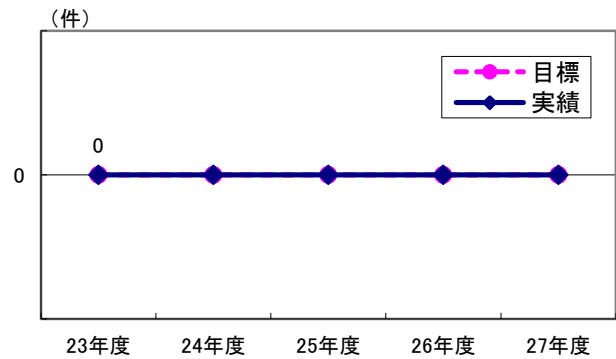
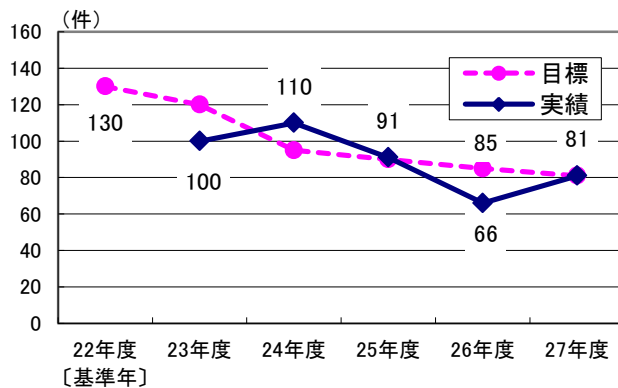
【指標(1) 有責事故件数の削減】

〔市バス〕

- ・平成23年度は前年度目標(130件)と比較して8%削減
- ・平成24～26年度は平成23年度実績(100件)と比較して毎年5%ずつ削減
- ・平成27年度は平成26年度目標(85件)と比較して5%削減

〔地下鉄〕

- ・開業以来、責任事故ゼロの実績を維持すること

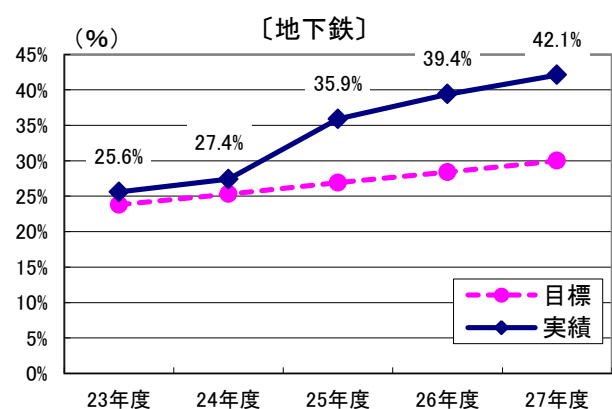
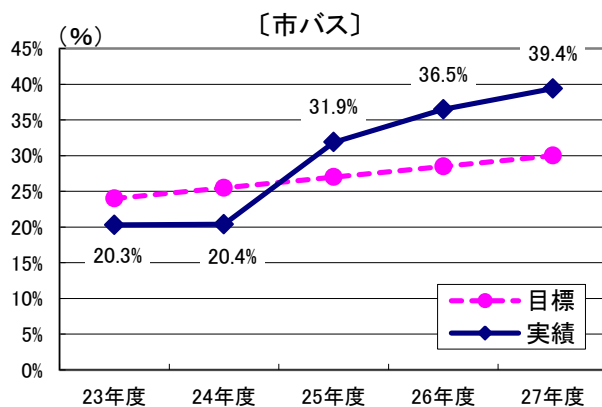


バスは計画期間を通しての目標達成はできなかった。
地下鉄は開業以来引き続き有責事故件数ゼロを維持し、目標を達成した。

(2) 利便性の向上

【指標(2) ICカードの利用率の向上】

平成27年度までに、市バス・地下鉄それぞれ乗車人員の30%にすること

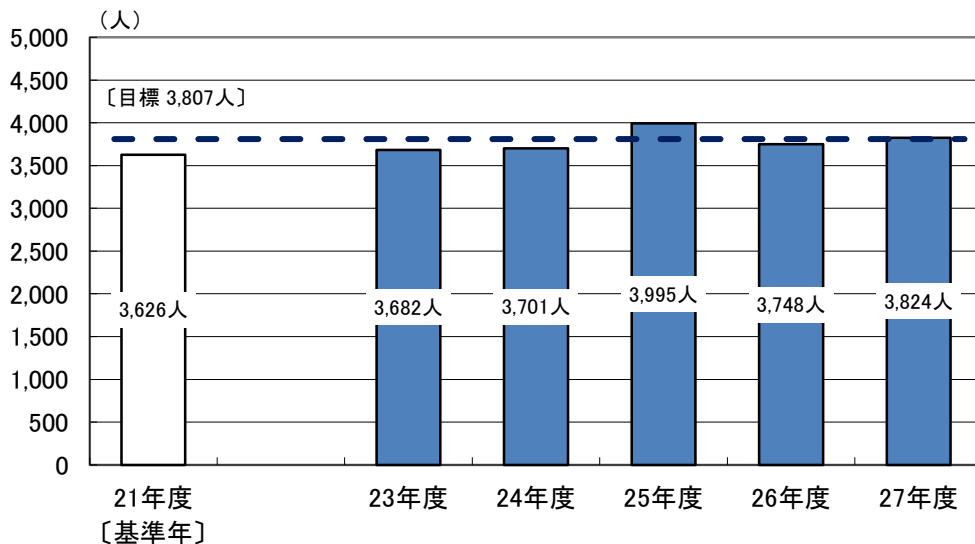


バスは39.4%となり目標を達成した。
地下鉄は42.1%となり目標を達成した。

(3) 地域との協働

【指標(3) 地域密着型バス路線の乗車人員の増加】

平成27年度までに、平成21年度から5%増加させること



* 対象系統: 8路線 (37、灘南北、26、101、87、83、57、59系統) の合計

但し、H24.12月より59系統は大型バス化し、現在の中小型バスにより運行している地域密着型バス路線は7路線。

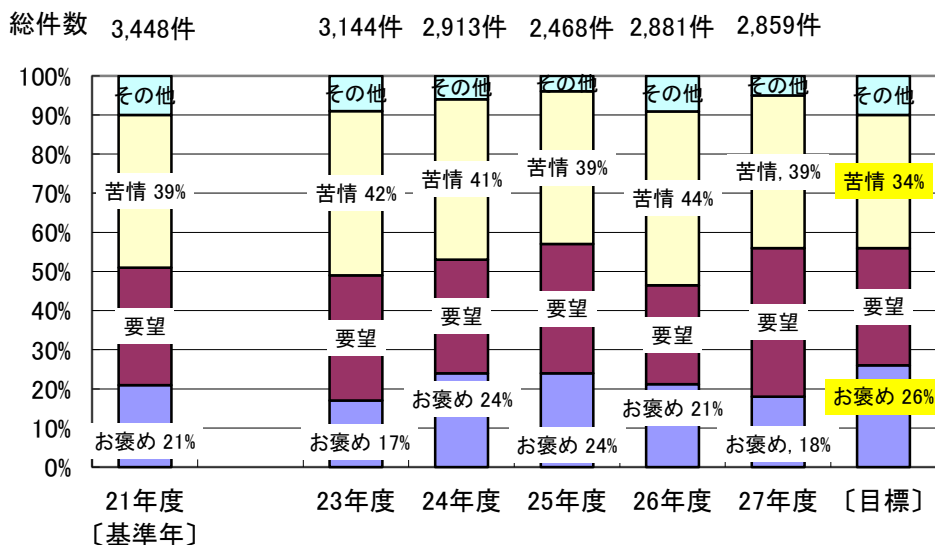
地域密着型バス路線の一日平均乗車人員は3,824人となり、平成21年度から+5.5%増加し目標を達成した。

(4) サービス・マナーの向上

【指標(4) お客様からのご意見の割合の改善】

平成27年度までに、お褒めの割合を、5ポイント向上させること

苦情の割合を、5ポイント削減すること



お褒めの割合は3ポイント減少、苦情の割合は横ばいとなり、目標を達成できなかった。

(5) ユニバーサル社会実現に向けての対応

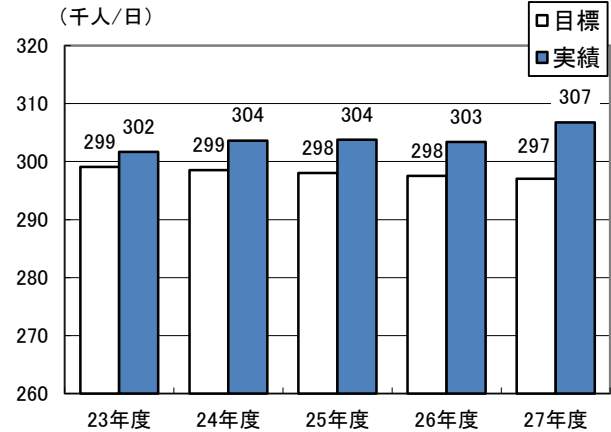
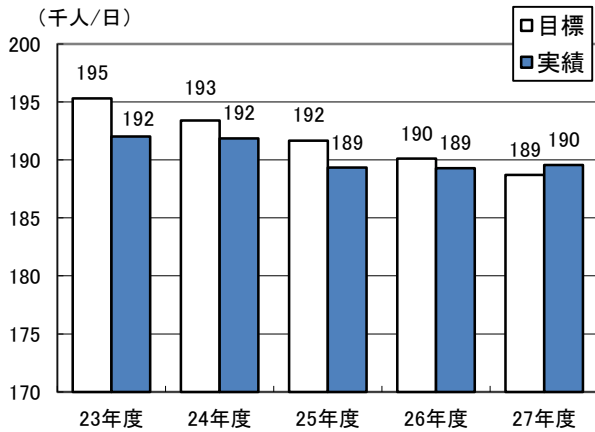
【指標(5) 乗車人員の増加】

〔市バス〕

平成27年度までに、改善前見込みよりも1%増加させること

〔地下鉄〕

平成27年度までに、改善前見込みよりも2%増加させること

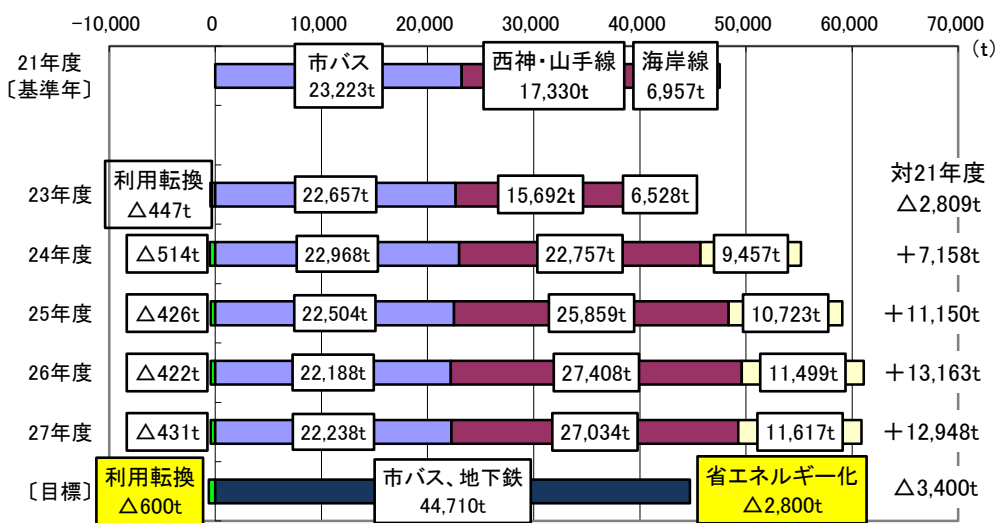


バスは1日平均189,564人で、改善前見込みより+1.5%となり目標を達成した。
地下鉄は1日平均306,785人で、改善前見込みより+5.7%となり目標を達成した。

(6) 低炭素社会実現に向けての対応

【指標(6) CO2排出量の削減】

公共交通機関への利用転換と市バス・地下鉄の省エネルギー化で平成27年度までに、平成21年度から 3,400t 削減すること



(参考) 地下鉄の電力使用

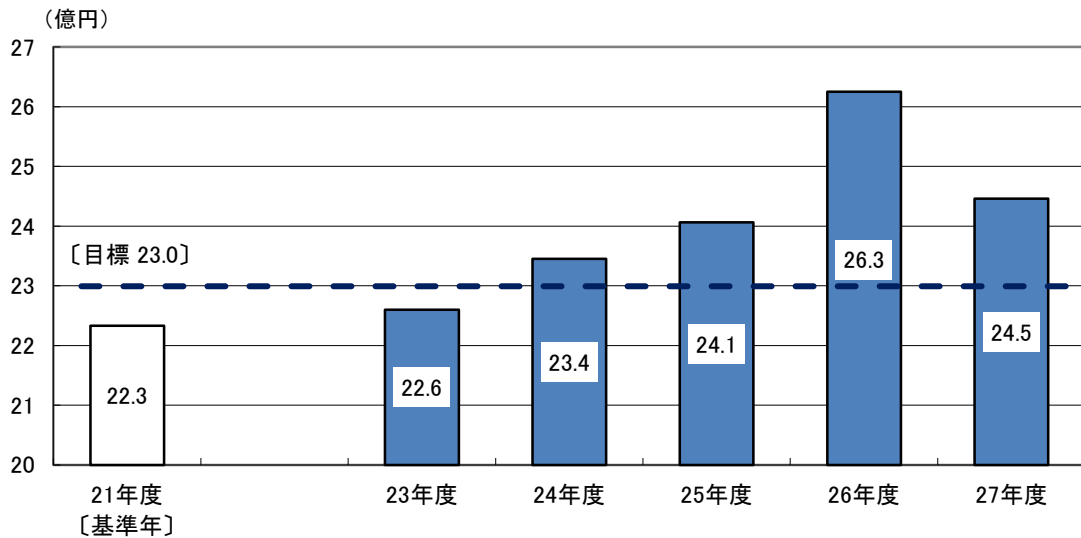
年度	使用量	単位	対21年度
21年度	80,200	kWh	
23年度	78,169	kWh	-2.5%
24年度	77,197	kWh	-3.7%
25年度	76,465	kWh	-4.7%
26年度	74,925	kWh	-6.6%
27年度	73,441	kWh	-8.4%

CO2排出量は、原子力発電所の稼働停止に伴い、CO2排出量の算定に用いる排出係数が大幅に悪化(21年度0.299→27年度0.523)したことから、平成21年度から12,948tの増加となり目標を達成できなかった。

(7) 収益力の向上

【指標(7) 附帯事業等収入の増加】

平成27年度までに、平成21年度から3%増加させること



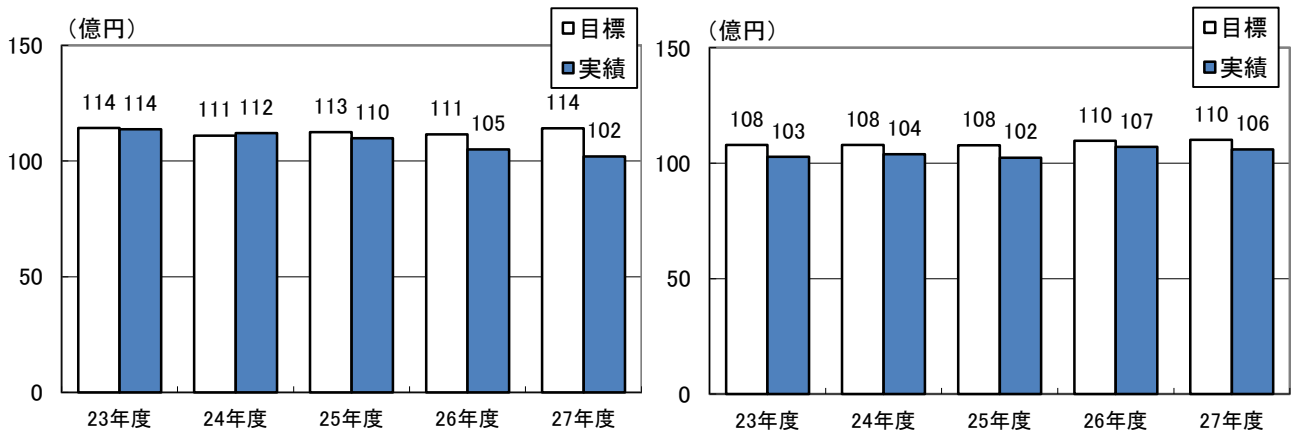
附帯事業等収入は24.5億円となり、平成21年度から+9.5%増加し目標を達成した。

(8) 経営の効率化

【指標(8) 運行経費の削減】

〔市バス〕
平成27年度までに、改善前見込みよりも
4%改善させること

〔地下鉄〕
平成27年度までに、改善前見込みよりも
2%改善させること



* 運行経費: 人件費、経費の計(営業費用-減価償却費)

バスの運行経費は102億円で、改善前見込みよりも14%改善し目標を達成した。
地下鉄の運行経費は106億円で、改善前見込みよりも5%改善し目標を達成した。

4 計画期間中（平成 23 年度～27 年度）の主な取組み

経営方針 1. 安全で安心な「市民の足」の確保

重点施策		主な取組み																
1	安全性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 運輸安全マネジメントによる安全性の向上 ● 非常事態等を想定した民間鉄道事業者との合同訓練の実施 ● 地下鉄設備の計画的修繕及び更新（中期修繕・更新計画の策定） ● 市バス全車両へのドライブレコーダーの設置（H24 完了） ● 地下鉄車両への運転状況記録装置の設置推進（36 編成設置） ● 津波浸水対策（H27：中央市場前駅、みなと元町駅） 																
2	利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● ICカードでの新たなサービスの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄 ICカードの全国相互利用対応（H25. 3） ・福祉パスの IC化（H25. 5） ・バス IC定期券の発売（H26. 3） ・ICカードによる市バス乗継割引の実施（H26. 4） ● 需要に応じた路線・ダイヤの設定見直し <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>路線新設</td> <td>11 路線、</td> <td>路線廃止</td> <td>5 路線</td> </tr> <tr> <td>路線変更</td> <td>10 路線、</td> <td>路線短絡</td> <td>3 路線</td> </tr> <tr> <td>増便</td> <td>23 路線、</td> <td>減便</td> <td>24 路線</td> </tr> <tr> <td>始発繰上げ</td> <td>20 路線、</td> <td>終発繰下げ</td> <td>23 路線</td> </tr> </table> ● 情報発信・案内の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードによる市バス時刻・路線案内（H26 全路線設置） ・スマートフォン用アプリ「K O B E 乗継検索」の提供開始（H27. 10～） ・西神・山手線乗客案内表示装置の LED化（H27 全駅完了） ・バスロケーションシステムの実証実験（H28. 2～） ● 駅構内公衆無線 LAN設置（H25） ● エレベーター、エスカレーター更新工事の実施（大倉山駅、湊川公園駅、総合運動公園駅、学園都市駅、新長田駅） 	路線新設	11 路線、	路線廃止	5 路線	路線変更	10 路線、	路線短絡	3 路線	増便	23 路線、	減便	24 路線	始発繰上げ	20 路線、	終発繰下げ	23 路線
路線新設	11 路線、	路線廃止	5 路線															
路線変更	10 路線、	路線短絡	3 路線															
増便	23 路線、	減便	24 路線															
始発繰上げ	20 路線、	終発繰下げ	23 路線															
3	地域との協働	<ul style="list-style-type: none"> ● ノエビアスタジアム神戸利用促進事業の募集・実施（H25～） ● 大学連携による市バス観光コースの検討等（H25～） （「市バス一本で行く舞子・垂水の街」ウォークイベント等） 																
4	サービス・マナーの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライブレコーダーを活用した研修の実施（市バス） ● グッドドライバー賞の創設（市バス・H26） ● バリアフリー研修の実施（地下鉄） 																

経営方針 2. 人と環境にやさしい市バス・地下鉄

重点施策		主な取組み
5	ユニバーサル社会実現に向けての対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等のバリアフリー化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市バス車両低床化 100%達成 (H24) ・高齢者等に配慮したトイレ洋式化などの改修 (10 駅で実施) ・駅トイレのオストメイト対応 (H26 全駅改修完了) ・駅ホームの点字ブロック J I S 規格化 (H26 完了) ● ユニバーサルデザインの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に配慮したバス停、バスターミナルの整備 (上屋 22 基、ベンチ 204 基設置) ・市バス車内停留所名表示機での英語表記 (H27)
6	低炭素社会構築に向けての対応	<ul style="list-style-type: none"> ● エコファミリー、I Cカードを利用したエコショッピングの実施 ● 環境に優しいバス車両への更新 (ハイブリッドバス 5 両、クリーンディーゼルバス 89 両) ● 「こうべバイオガス」の継続利用 (13 両で利用) ● 地下鉄駅及び車両における節電対策、省エネルギー化 (駅や客室灯の高効率照明器具への更新など)

経営方針 3. 安定した経営を維持するためのさらなる経営改善

重点施策		主な取組み
7	収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 地下鉄海岸線乗客増対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「海岸線 “乗っ得” 1 day パス」の発売 (H22. 7~H26. 3) ・ノエビアスタジアム神戸利用促進事業の実施 (H25~) ・地下鉄海岸線・市街地西部活性化プロジェクトへの参画 ・イオンモール集客プロジェクトチームの設置など ● 地下鉄海岸線「1 キロきっぷ」の実証実験実施 (H26) ● 市バスを利用した周遊コース等の企画・PR (市バス八社巡りなど (H26. 11~)) ● 駅ナカ・ソトビジネスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・駅売店のコンビニ化 ・デジタルサイネージの設置 (4 駅)、A T M 設置 (18 台) ・テナント誘致など ● 遊休資産の活用 (橋操車場用地の有償移管等)
8	経営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ● 総人件費の抑制、嘱託・再任用職員の活用、運行経費等の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・職員定数の削減 (バス△131 人、地下鉄△7 人、合計△138 人) ・民間委託の推進 (市バス車両の車検業務の一部 (H25~) 等) ・有野営業所等 9 路線の民間移譲 (H25. 5) ● 市バス車両更新期間の延長 [12 年⇒18 年] (H25~)